

報道解禁 11月19(金) 17:00

文化庁の指示による

令和3年11月17日

文化課

「おおたぐろけじゅうたくおもや太田黒家住宅主屋」「おおたぐろけじゅうたくくら太田黒家住宅蔵」(菊池市)が

## 国登録有形文化財(建造物)に答申

令和3年11月19日(金)に開催される国の文化審議会(佐藤 まこと 会長)は、新たに91件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行う予定です。

本県では、「太田黒家住宅主屋」、「太田黒家住宅蔵」(菊池市)の2件が新たに登録される予定です。本県内の登録有形文化財(建造物)は、今回登録分を含めて182件となります。

(注意) 太田黒家住宅は現在、一般公開されておられません。取材の見学を希望される場合は、菊池市教育委員会生涯学習課へ、御相談ください。

## 記

登録名称	太田黒家住宅主屋
所在地	熊本県菊池市重味字中鶴2585-1
建設年代等	江戸末期/平成9年改修
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式	木造2階建、瓦葺
特徴等	太田黒家は代々、 <sup>※1</sup> 日田街道の <sup>※2</sup> 番所の役人を務めた。主屋は2階建てで、4面に <sup>※3</sup> 下屋をまわし、中央には <sup>※4</sup> 式台が設けられている。また、壁の一部を漆喰で梁や柱の形を塗り上げるなど、外観に意匠が凝らされており、山間部にありながら格式を備え、番所の歴史を伝えている。



全景



内部(客間)

登録名称	太田黒家住宅蔵
所在地	熊本県菊池市重味字中鶴2585-1
建設年代等	文久3年(1863年) / 平成10年改修
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式	土蔵造2階建、瓦葺
特徴等	蔵は、主屋の西側に建つ <sup>※5</sup> 土蔵造り2階建てで、 <sup>ひきし</sup> 庇付の片開窓がアクセントとなっている。南側には、約3メートルの平屋が張り出しており味噌蔵として使用された。主屋とともに歴史的景観を形成している。



全景



内部(北側2階)

【用語説明】

- ※1 <sup>ひたかいどう</sup>日田街道…江戸時代に博多、久留米、中津、熊本、別府の各地から日田に通じる街道の総称。
- ※2 <sup>ばんしょ</sup>番所…交通の要所に設け、通行人や船舶などを見張り、積荷の検査や税の徴収などを行った所。役人の詰所。
- ※3 <sup>げや</sup>下屋…主屋の壁から差し出してつくられた屋根。
- ※4 <sup>しきだい</sup>式台…正式な訪問(公式の来客)を迎え入れる玄関。家格を表す表玄関。一般の出入りに使用する通用口(内玄関とも呼ぶ)や勝手口の他に設けられる。
- ※5 <sup>どそうづく</sup>土蔵造り…木造に土壁塗りの蔵で、耐火建築物として道具や食料の格納に用いられる。

【問合せ先】

菊池市教育委員会生涯学習課

担当 阿南 TEL0968-25-7232

熊本県教育庁教育総務局文化課

担当 帆足、高野 TEL096-333-2707

(内線) 6768